

日本分析化学会北海道支部設立 50周年記念誌発行に寄せて

平成 18 年度北海道支部長 田中俊逸

日本分析化学会北海道支部は、今年度設立 50 周年を迎える。この記念すべき年を祝うために支部では、三浦敏明先生を委員長とする企画委員会において 50 周年記念事業について検討をしていただいた。その結果、50 周年記念誌の発行と、長く支部活動に貢献していただいた地元企業への功績賞の授与、そして 50 周年記念祝賀会からなる記念事業の骨格を決めてもらうともに、記念誌の編集等の作業も企画委員会で行っていただいた。

北海道支部では、これまでも 25 周年と 35 周年の際に記念誌を発行してきた。これは、間隔が長くなると支部活動の資料が散逸し、その収集に苦勞するからとの理由による。従って 50 周年記念誌の資料の大部分は、35 周年記念誌以降の 15 年分を主に掲載したものである。25、35 そして 50 周年の 3 つの記念誌を合わせることによって支部 50 年の軌跡がほとんど全て分かることになる。同時に、これらの記念誌を PDF ファイルにして支部のホームページに掲載することにした。支部 50 年の歩みが、冊子体としても電子ファイルとしてもアクセスすることができるようになり、いつでも誰でも利用できる体制が整ったことになる。50 周年記念誌の発行に係わった三浦企画委員長はじめ委員の方々、執筆頂いた方々、そして事務を担当していただいた北川さんに改めて感謝したい。

さて、これらの記念誌を眺めながら支部活動を振り返ると、先人たちの支部活動に対する創意・工夫と熱意が伝わってくる。50 年の長きに渡って、支部活動を育て維持していくには、相当のエネルギーと情熱が必要だったことがよく分かる。時にそのエネルギーのものの一つがアルコールだったことも伺える。我々は、先人が築き上げた支部の体制にのって、何とかそれを維持してきた。しかし今後は、これからの 50 年を見据えて支部活動を一層発展させていかなければ 100 周年を向かえることは容易ではないであろう。分析化学会北海道支部の今後 50 年の体制や活動を考えるための資料として、この 3 冊の記念誌が大いに活用されることを願っている。